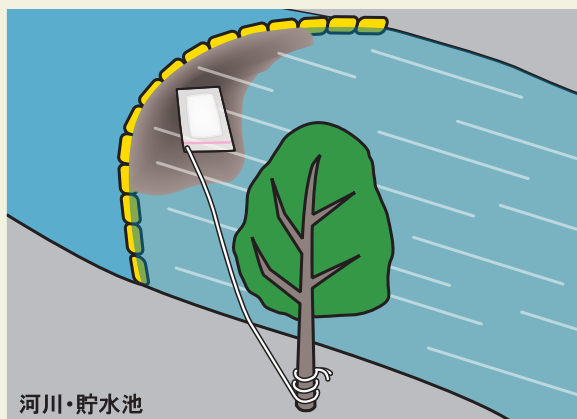
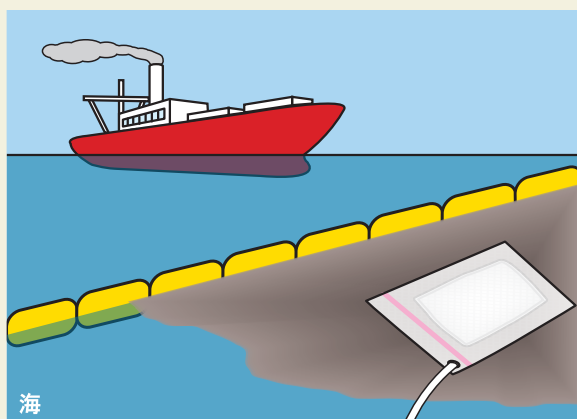


油吸着分解処理材 TACO-Q を用いた 漏油事故対策の油処理の手順方法

1. 河川、貯水池などの漏油処理



河川・貯水池

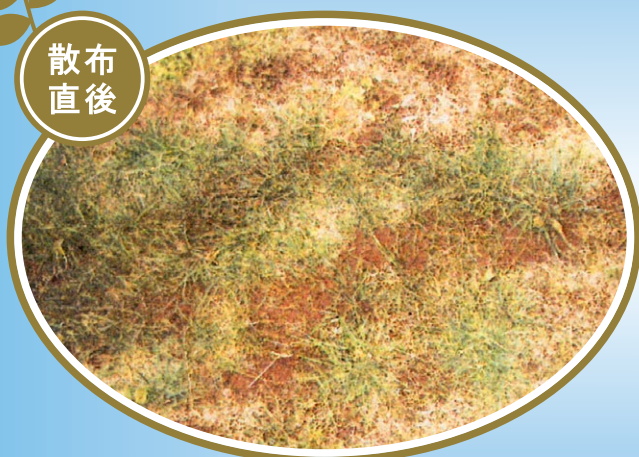


海

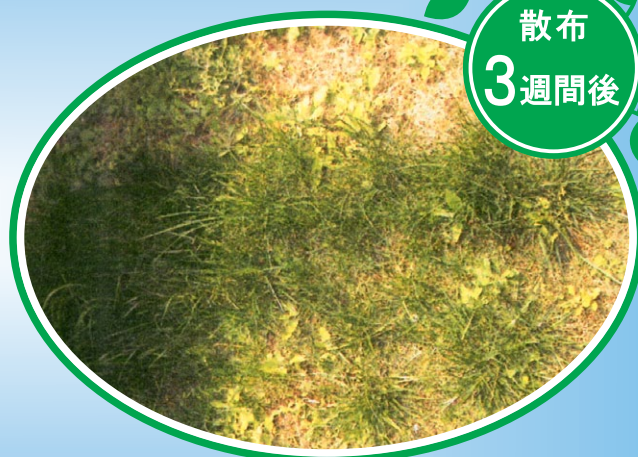
- 1 オイルフェンスを用いて、漏油が拡散しないように展張して下さい。
- 2 製品中にセットしてありますマスクを着用し、スコップを用いて「TACO-Q」を回収ネットの中に詰めて下さい。
- 3 回収ネットの穴ひもに綿ロープ(3m)を繋いで、漏油に向けて投げ入れて下さい。
- 4 吸着力は自重の約4倍です。また、水面上では12時間以上浮遊しております。
- 5 「TACO-Q」を用いて漏油を回収した後に油膜が残った場合は、油分解処理バイオ生剤「MTS-MICROBE-EX」を用いて油膜に散布して下さい。油膜はすぐに除去されます(使用方法については、カタログを参考にして下さい)。
- 6 吸着回収された「TACO-Q」の処分方法は、土壌と混合させて埋め戻し、製品中の堆肥化促進用活性化剤「MTS-MICROBE-H」を用いて、水で500倍に希釈して散布して下さい。
- 7 堆肥化するまでの期間は、その時の気候、温度などの環境状況によって異なりますが、一般的には、約3ヶ月間で堆肥化いたします。
- 8 堆肥化が遅い場合は、「MTS-MICROBE-EX」を用いれば堆肥化の促進が早くなります。

灯油を吸着させた TACO-Q の堆肥化

散布直後

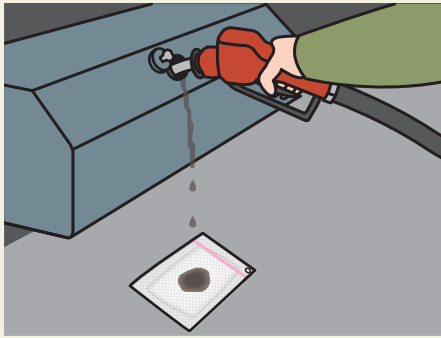


散布
3週間後



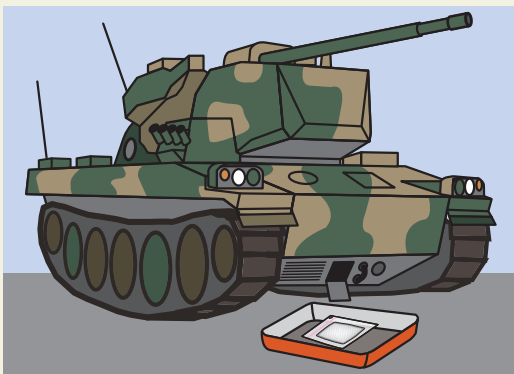
*基本的には堆肥化を促進するには土壌に埋め戻して下さい。

2. ガソリン、灯油、軽油、燃料油などの給油中の漏油処理



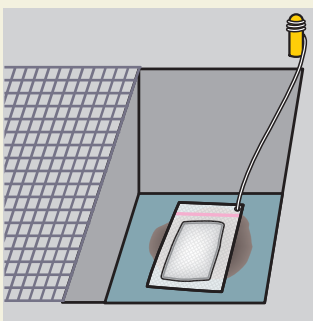
- 1 製品中にセットしてありますマスクを着用し、散布・回収用スコップを用いて、土壌やコンクリート表面の油を吸着させて、飽和状態になるまで使用して下さい。
- 2 吸着力は自重の約4倍です。
- 3 事前の準備として、回収ネットの中に詰めて給油場所に設置することで、土壌やコンクリート表面に浸透する事を防止できます。
- 4 吸着回収された「TACO-Q」の処分方法については、前記と同様に処置して下さい。

3. 車両、戦車、ヘリコプターなどの整備中の漏油処理



- 1 ウェス替わりとして使用される場合は、製品中にセットしてありますマスクを着用し、散布・回収用スコップを用いて、コンクリート表面の油を吸着させて、飽和状態になるまで使用して下さい。
- 2 事前に回収ネットの中に詰めて、漏油しそうな場所に設置することで、油を容易に回収できます。
- 3 「TACO-Q」を詰めた回収ネットをオイルパンなどに置くことで、コンクリート面などを汚すことなく油を回収できます。
- 4 吸着回収された「TACO-Q」の処分方法については、前記と同様に処置して下さい。

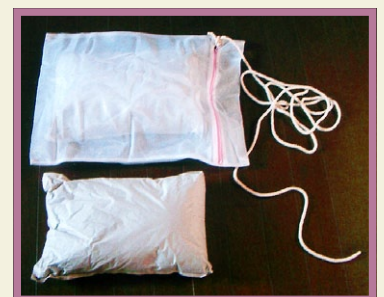
4. 排水ピットなどに油が流出した場合の処理



- 1 製品中にセットしてありますマスクを着用し、スコップを用いて「TACO-Q」を回収ネットの中に詰めて下さい。
- 2 回収ネットの穴ひもに綿ロープ(3m)を繋いで、排水ピット内に投げ入れて下さい。
- 3 吸着力は自重の約4倍です。また、水面上では12時間以上浮遊しております。
- 4 12時間以上使用して水を多く吸収した場合は、排水ピットから引き揚げて天日乾燥させて水分を蒸発させれば、飽和状態になるまで繰り返し使用できます。
- 5 吸着回収された「TACO-Q」の処分方法については、前記と同様に処置して下さい。

注意事項

- 「TACO-Q」は嵩比重が0.13~0.15と大変軽いものでありますので、回収ネットに詰め込み作業を行う時には、製品中にセットしてありますマスクを着用し、なるべく風の影響のない場所にて行って下さい。
- 「TACO-Q」の構成成分であるピートモス及び微生物生剤は、輸入時に植物防疫法に従い、植物防疫所の検査の許可証を得て輸入された商品ですので、人体に対して有害な物質は含まれておりません。
- 別売りの「TACO-Q」パックをご利用頂くとより便利です。



TACO-Q パック

製造/販売

Mac マックテクニカルシステムズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-1-6 日本橋永谷ビル6F

☎ 03-3242-3367 <http://www.macts.co.jp>

代理店